

今回の内容：①会議情報、②委員長等記者会見の様様

会議情報

最近の消費者安全調査委員会での議論についてお知らせします。

第103回消費者安全調査委員会（令和3年3月26日）

- 水上設置遊具による溺水事故のフォローアップ
令和2年6月に調査委員会から具申した意見に対する取組状況について、経済産業省に出席いただき、公開でヒアリングを行いました。

経済産業省からは、次のような報告がありました。

- ・ 令和2年12月25日、安全管理に関する先進事例等を踏まえ、水上設置遊具の安全に関するガイドラインを取りまとめ、公表
- ・ 令和2年7月9日、応急的な対策として、東日本遊園地協会及び西日本遊園地協会を通じて、会員企業32社に対し、注意喚起を行い、再発防止策の実施を要請

この報告に基づいて、事故防止のための更なる取組についての意見交換を行いました。次回以降の調査委員会で、本ヒアリングの内容を検討し、後日、結果を経済産業省にお伝えする予定です。

- 自動ドアによる事故
事務局から説明があり、これを基に報告書案の審議を行いました。
- 新規選定事案候補
事務局から説明があり、これを基に審議を行いました。
- 一般の方からいただいた「申出」事案
事務局から、申出の内容等が報告され、その内容に基づき調査委員会で検討した結果、そのうち9件について調査を行わないこととしました。残りの案件（23件）については、引き続き、臨時委員、専門委員等の知見も活用しながら、事務局で丁寧に情報収集を行った上で、調査委員会において判断していきます。

部会の動き

- サービス等事故調査部会（3月上旬に開催）
 - ・ 水上設置遊具による溺水事故のフォローアップ
事務局から説明があり、これを基に報告書案の審議を行いました。
 - ・ 自動ドアによる事故
事務局から説明があり、これを基に報告書案の審議を行いました。
 - ・ 新規選定事案候補
事務局から説明があり、これを基に審議を行いました。

委員長等記者会見の様様

委員会後に委員長等の記者会見を行いました。

詳細は以下をご覧ください。

<https://www.caa.go.jp/policies/council/csic/statement/2020/>